

坂町文化財 No.5

坂町文化財保護委員の皆さんが、史跡案内看板設置箇所をご紹介します。見慣れた町の風景に新しい発見がありますように。

まちをぶらり～上條トンネルと児童遊園地～

上條トンネルと上條～植田間の道路が開通して、今年で71年が経ちました。このトンネルと道路は、上條地区に生まれた畝為吉氏（明治22年～昭和63年）の多大な私財と、地区住民の奉仕と協力によって完成したものです。

「みんなが協力し合っていつまでも仲良く暮らしてほしい」という為吉さんの思いを汲んで、トンネルの両入り口には、「協力一致」「共存共栄」の文字が刻まれています。

トンネルを作るという、少年の頃からの夢を実現した「畝のおじいさんの像」は、上条児童遊園地に建立されています。



上條方面からトンネルを抜けたその先には、穏やかな瀬戸内海の景色が楽しめます！



あたたかい心のともしび



次の方々から、社会福祉事業資金としてご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。
 ◎香典返し寄附者
 岡田 敬三(坂東三丁目)

よろこび
 おめでとうございます
 6月届出分 敬称略

寺岡 紗知香(坂東二丁目)
 岡平 武琉(坂東三丁目)
 吉元 絢成(坂西一丁目)
 河村 蓮都(坂西三丁目)
 田中心乃(平成ヶ浜二丁目)
 北 百々花(横浜東一丁目)
 山崎 風七美(横浜東一丁目)
 岡 蒼真(横浜中央三丁目)
 前田 笑来(植田四丁目)

このコーナーに掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

かなしみ

おくやみ申し上げます
 6月届出分 敬称略

松村 三重子(93)(坂東三丁目)
 山本 保(85)(坂西二丁目)
 山田 喜昭(87)(横浜中央三丁目)
 西中ノブエ(99)(横浜中央三丁目)
 山村 和美(90)(小屋浦二丁目)
 山下ミヤコ(104)(小屋浦二丁目)

「坂うめじろう」のキーホルダーを販売します！



300円

販売場所
 ・役場2階企画財政課
 ・町民センター
 ・横浜ふれあいセンター
 ・小屋浦ふれあいセンター
 ・サンスターホール
 問合せ 役場企画財政課
 ☎820-1507

今月の休日当番医

診療時間 9時～17時30分 休診時間 13時～14時

日付	坂町・熊野町	府中町	海田町	広島市安芸区
7日(日)	クリニックたなべ整形外科 ☎884-4155	小山田内科医院 ☎281-0807	かわもと皮ふ科 ☎820-0101	中山内科医院 ☎892-3118
11日(木・祝)		府中水野皮ふ科クリニック ☎284-4112	たんきょう眼科 ☎824-3131	くしだ耳鼻咽喉科 ☎893-3387
14日(日)	済生会広島病院 (内科・外科・整形外科・脳神経内科) ☎884-2566	ちくいクリニック (脳外科・内科) ☎286-7788	よしだ内科呼吸器科 ☎821-2512	さなだ内科クリニック ☎820-3001
21日(日)	宗盛医院(内科) ☎854-1111	こさか内科 ☎281-4482	くるしま内科循環器クリニック ☎821-2212	きむらクリニック (内科・胃腸科・放射線科) ☎820-0522
28日(日)	片山医院(内科・外科) ☎854-0252	スガタ整形外科医院 ☎285-6522	深坂内科循環器科 ☎823-0588	安芸市民病院 (内科・外科・小児科) ☎827-0121

受診を迷うときは、**#8000こどもの救急電話相談**（毎日、午後7時から翌朝8時まで）、**#7119成人の救急電話相談**（24時間365日）もご利用ください。

今月の納税

口座振替日 8月26日(金)
 口座振替の登録をされている方は、口座振替日の前日までに残高の確認をお願いします。

8月31日(水)
 町県民税 ……第2期分
 国民健康保険税 ……第2期分
 介護保険料(1号) ……第5期分
 後期高齢者保険料 ……第2期分

坂町の人口と世帯

(7月1日現在)
 男：6,226人 (前月比 - 8)
 女：6,749人 (前月比 - 2)
 計：12,975人 (前月比 - 10)
 世帯数：5,890世帯 (前月比 - 7)

坂町史

第101回 坂町のいまむかし(坂の風景)

今月から、通史(現代)・地理編に掲載されている、むかし懐かしいまちの風景をご紹介します。移りゆくふるさとの風景は、ここで過ごしてきた時間を思い起こさせてくれます。思い出すたび幸せを感じられる一枚、そして何より、ふるさとを慈しむ一枚に出会えたならば幸いです。



昭和61年まで現在の役場周辺には、中国電力(株)坂発電所が立地していた(写真①、②)。平成3年に、発電所の全施設が撤去され、平成5年には、役場庁舎が移転。



北新地及び平成ヶ浜の埋立造成により、まちが様変わりしている様子(写真③)がうかがえる。

[『通史(現代)・地理編』より]